

第2表

2 指導の重点

- (1) 教育目標「確かな学力」を育成するために、「確かな学力コアプラン」「区 誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」を推進し、各教科等の指導の充実を図る。
- 各教科等の特質を生かした指導とともに、教科等横断的な視点に立った指導を推進する。特に、思考力・表現力・判断力等を養うために、「問題解決的な学習の指導（小岩小授業モデル）」を構築・推進し、統一的指導・段階的指導・個に応じた指導の充実を図る。
 - 知識及び技能の定着のために、基礎基本の学習・個に応じた指導や学習規律の徹底を図る。
 - 学びに向かう力等を養うために、思考力・判断力・表現力等を養う取組や知識及び技能の定着を図る取組を積み重ねる。
 - 各学力調査等を活用し、適正に評価するとともに評価の改善を図る。
 - 家庭と連携し、家庭学習の充実や生活習慣の確立を図る。
- (2) 教育目標「豊かな心」を育成するために、「豊かな心コアプラン」を推進し、健全育成の指導の充実を図る。
- 人権を尊重する姿勢、よりよく生きる基盤となる道徳性、SDG s や学校 2020 レガシー・区子どもの権利条例を学ぶ学習に基づく自他や社会・自然環境を尊重する心、LGBTQ や自国・他国の文化など多様性を尊重する心等を養うために、全教育活動を通じた統一的指導・段階的指導や家庭や地域と連携した取り組みの充実を図る。
 - 自らあいさつする姿勢や思いやりの心の育成、基本的生活習慣の定着のために、「小岩小生活スタンダード」を構築・推進し、生活指導の充実を図る。
 - いじめの未然防止・早期発見や、不登校を0にするために、「hyper-QU」等を活用・共有して指導の充実を図る。また、個別対応会議の随時開催やスクールカウンセラーの効果的な活用を含め、学校組織として対応する。
 - 安全に対する望ましい態度・判断力等を育てるために、災害等に対する避難訓練、不審者や携帯電話等についての安全指導やセーフティ教室・薬物乱用防止教室等を計画的に実施する。
- (3) 教育目標「健やかな体」を育成するために、「健やかな体コアプラン」を推進し、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する指導の充実を図る。
- 体力・運動能力の向上を図るために、小岩ムーブに基づく運動（準備運動・整理運動・運動遊び）、相撲場を活用した活動に取り組みさせる。また体力テストを活用し、指導改善を図る。
 - 自分の健康や食に関心をもたせ、自ら考え判断し行動する力を養うために、食に関する指導・保健指導の充実を図る。

- (4) 教育目標「生きる力」を育成するために、「特別支援教育コアプラン」を推進し、障害・発達特性による学習上・生活上の困難を自ら改善していく力や姿勢を養う指導の充実を図る。また全ての児童に「自尊尊重と共生の姿勢」を養う指導の充実を図る。
- 特別支援教室において障害による学習上・生活上の困難を改善するために、健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーションに関する自立活動の指導の充実を図る。また障害・発達特性による学習上・生活上の困難改善に対し、児童自ら思考・判断・表現できるようにするために個別最適な問題解決的な学習「小岩小授業モデル」を取り入れる。
 - 弱視通級指導学級において障害による学習上・生活上の困難を改善・克服するために、特に視覚認知等・目と手の協応・視覚機器操作技能（ICT含む）・自己障害理解・感覚統合・コミュニケーションに関する自立活動の指導の充実を図る。また障害・発達特性による学習上・生活上の困難改善に対し、児童自ら思考・判断・表現できるようにするために個別最適な問題解決的な学習「小岩小授業モデル」を取り入れる。
 - 特別支援を要する児童への理解を深め、共生の姿勢を養うために、本校の巡回指導教員・弱視通級指導学級教員が通常学級で共生学習（共生社会を生きるため問題解決的な学習（小岩小授業モデル）の指導を行う。また、特別支援学校との副籍交流（交流や共同学習等）を行う。
- (5) 教育目標「生きる力」を育成するために、「日本語指導コアプラン」を推進し、日本語習得が不十分なことによる学習上・生活上の困難を改善していく力や姿勢を養う指導・支援の充実を図る。また全ての児童に「自尊尊重と共生の姿勢、豊かな国際感覚」を養う指導の充実を図る。
- 日本語通級指導学級において「読む・書く・聞く・話す」の基本的な言語能力を育てるとともに、教科学習の基礎基本の定着や具体的な場面で日本語表現ができるようにする指導・支援の充実を図る。また日本語習得が不十分なことによる学習上・生活上の困難改善に対し、児童自ら思考・判断・表現できるようにするために個別最適な問題解決的な学習「小岩小授業モデル」を取り入れる。
 - 日本語通級指導学級において「自国文化や日本を含めた他国文化の理解（豊かな国際感覚）」を深め、「自己肯定感」を高める指導を行う。また「共生の姿勢」を養うために日本語学級通級内の児童間の交流や発表活動を取り入れる。
- (6) 教育目標「生きる力」を育成するために、地域やPTA等と連携した教育を推進する。
- 開校140周年で培った学校や地域を愛する心情や社会の成員としての自覚を一層深めるために、同窓会や地域・PTAの諸行事に参画する。
 - 音楽に親しむ心や豊かな情操、地域に参画する姿勢等を養うために、4～6学年児童有志によるブラスバンド「ブルーラビットバンド」の活動を推進する。
 - 家族の一員としての自覚や地域への参画意識を高めたり、健全育成を推進したりするために、家庭（PTA）や地域、近隣校と連携して、あいさつ運動や学校行事・地域行事等に取り組む。また、道徳授業地区公開講座や学校評価を教育活動の協働のために活用する。